

進路情報

(のぞみ)
希望 6号
令和 7年 5月 22日(木)
那覇市立松城中学校

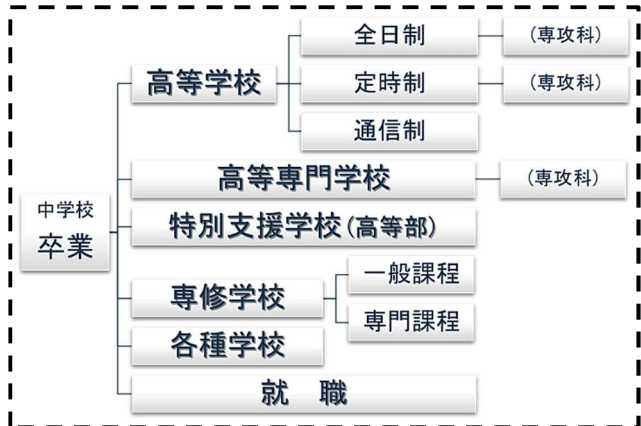
《全学年》「言葉」は「意識」を変え、「意識」は「行動」を変え、「行動」は「結果」を変える(国分 秀男)

◇「高等学校」について知ってほしい、「基本のキホン」◇

進路情報「希望 4号」でも紹介したとおり、令和6年3月の県内の中学校卒業者のうち、上級学校への進学率は「97.0%」。そのほとんどが「高等学校」への進学です。

一言で高等学校といっても、学校の設置者や学校での登校・活動時間、学ぶ内容にそれぞれ特徴があります。

今回の進路通信では、高等学校についての基本的な情報を紹介します。



その① 「設置者の違い」による高校の種類

公立高校	都道府県など地方自治体が設置した高等学校。同一県内において格差が生じることが無いように都道府県が(ほかの都道府県では市町村も)設置しています。沖縄県内の公立高校は県が設置する「沖縄県立高校」が59校あります。
私立高校	民間による「学校法人」が設立した高校です。沖縄県内には全日制高校が6校・通信制高校の本校が6校あります。「何を重視してどんな教育をするのか」という教育方針が各学校によって異なり、学校の数だけスタイルが違います。 私立高校では公立高校と比べて「普通科」の割合が多く、最近は普通科の中をさらに細分化し、コース制を設置するなど、目標とする大学に合わせてカリキュラムを組んで進学指導体制を整えている高校が増えています。 部活動に力を入れる高校や、心の教育、起業家教育に力を入れている高校など、進学実績だけでなく様々な角度から学校選びができるのも私立高校の魅力です。

その② 「登校時間・学習方法の違い」による高校の種類

全日制	定時制	通信制
- 授業…平日の昼間 - 修業年限…基本的に3年 - 登校日数…週5日 - 登校時間…朝	- 授業…夜間または午前中 - 修業年限…基本的に4年 - 登校日数…週5日 - 通学時間…夕方または朝	- 授業通信教育による学習＋スクーリング - 修業年限…3年以上 - スクーリング回数…学校やコースによって異なる
全日制高校	高校の最も一般的なスタイル。小学校や中学校と同様、 朝に登校し、夕方に下校します 。1日に5～7時間の授業があり、就学年度は3年。基本的には「制服」がありますが、制服を制定しない全日制高校【真和志高校】も見られます。 メリット ……学校数が多く、選択肢が広い。学校行事や部活動が活発で、生徒が多く、友人関係が広がりやすい環境。 デメリット ……学校数は豊富ですが、「入試」があるので、自分の学力にあった学校しか選べません。また、多くの学校で学年制を採用しているため、「留年」して同じ学年を繰り返すこともあります。	

定時制 高校	仕事と学業の両立を趣旨とし、夕方から4時間の授業を行なうのが主流ですが、午前中に4時間の授業を行う学校【泊高校（午前部）】もあります。最近では、補習を行なうスタイルも誕生し、全日制に通えない生徒を多様な形でカバーしています。 メリット……1日あたりの授業時間が少ないため、自由に使える時間が豊富にあります。仕事やアルバイト（授業認定されることもある）ができるので、自分で学費を準備して通学することも可能。また、学習内容は比較的やさしく、勉強が苦手な人でも再チャレンジできます。 デメリット……一般に定時制高校は卒業まで「4年」かかります。補習を受けることで早く卒業できることもあります。また、授業内容が全日制に比べ、基本的な内容になることが多いため、大学進学を考えている人には学習内容が不足します。大学進学を目指すには、高校とは別に予備校などに通う必要があるでしょう。
通信制 高校	通信教育（テレビ・ラジオ等の活用）によって教育を受ける課程。基本的には自宅で自学自習を行なうため、個々に合ったペースで学習します。科目ごとに出された課題（レポート）をすべて提出するほか、「スクーリング」と呼ばれる面接指導、認定試験を繰り返し、高校卒業を目指します。勤労者や中学校での不登校など、様々なケースでも教育を受けられるといった利点はありますが、レポート提出期限を守り、自学自習するための自己管理が重要です。 メリット……自分のペースで学習ができ、自分の時間を確保しやすい。 デメリット……生徒間の交流がそこまで多くない。卒業には自己管理が求められる。進学には学校の勉強だけでは難しいため、予備校などへ通う必要がある。学校やコース（スクーリング以外の通学・補習など）によって、学費が大幅に変わってくる。

その③「学習内容の違い」による高校の種類

普通科	中学校で学んだ教科を基本に、さらに幅広く、高度な内容の学習を行ないます。主な教科は「国語」「外国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「保健体育」「芸術」「家庭」「情報」など、幅広く学習していきます。
専門学科	将来の進路（就職希望など）に応じて、「職業教育」を主とする学科です。専門学科は「農業」「工業」「商業」「水産」「家庭」「情報」「福祉」などに関する学科のほか、「理数」「芸術」「体育」や「外国語」の内容をさらに高度化している学科などもあります。学習成果を活かして、資格取得にチャレンジしている学科も多いです。
総合学科	国語、数学などの普通教科を中心に学ぶ「普通科」と、農業・工業・商業・家庭・福祉などの専門教科を中心に学ぶ「専門学科」に並び、第三の選択肢として沖縄県では平成7年に導入されました。（県立高校では「陽明」「嘉手納」「沖縄水産」、私立では「KBC 高等学院」「大育高等専修学校」などが設置）※KBC 高等学院、大育高等専修学校は「通信制高校」とのダブルスクーリング（学費は「2校分」かかる） 総合学科では、生徒の個性や得意分野を生かした「個性を生かした主体的な学習・自己の進路希望を深める学習」を重視しており、大学のカリキュラムのように自分で選択できる科目があります。1年次は必修科目を中心に、2年次以降はコースに応じた科目を中心に学びます。

◇高校等のホームページを紹介しています！◇

松城中ホームページの「進路情報」コーナーに、松城中学校付近から通える（自力通学ができると思われる）高等学校等のホームページ（県立高校 21 校、私立高校 10 校、専修学校等 10 校、職業能力開発校 2 校）をまとめました。どのような進学先があり、そこで何を学ぶのか、進学先のイメージづくりに役立ててほしいと思います。